

第14期報告書 2020年4月1日 > 2021年3月31日

ごあいさつ

株式会社マツモトキヨシホールディングスの第14期連結累計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績と取組みをご報告するにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げますとともに株主の皆様の平素のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様及び影響を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復と感染の収束をお祈り申し上げます。

第14期 連結累計期間の業績について

当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、企業収益や業況感は厳しさが残り、設備投資も減少しており、感染症が再拡大するなか、厳しい状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、業種・業態を越えた競合企業の新規出店、商勢圏拡大に向けた新たなエリアへの侵攻、M&Aによる規模拡大、同質化する異業種との競争、それらが要因となる狭小商圏化など、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループは、お客様と従業員の安心・安全を最優先しながら、営業時間の短縮、臨時休業等を行う事で多くの店舗において営業を継続するとともに、3つの重点戦略「デジタル化の更なる高度化」「グローバル化の更なる進展」「専門領域での事業規模拡大」を新たに設定し取組んでおります。また、当社は美と健康の分野で圧倒的なプレゼンスを獲得し、国内ドラッグストアの競争に勝ち残ることを目的に、株式会社ココカラファインと経営統合に向け、2020年4月から資本業務提携を開始しております。

具体的には、当社グループの強みとなる顧客接点数は、2021年3月末現在、延べ7,800万超まで拡大いたしました。

海外での新規出店に関しましては、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市に1号店となる「マツモトキヨシ ビンコムセンタードンコイ店」がオープンし、2021年3月末の海外店舗数は、タイ王国で30店舗、台湾で17店舗、ベトナム社会主義共和国で1店舗の合計48店舗となりました。

専門領域での事業規模拡大では、厚生労働省の認可を受けた37店舗の健康サポート薬局は地域医療連携を推進するとともに、調剤サポートプログラムの加盟店舗も122店舗まで拡大いたしました。プライベートブランド(PB)商品につきましては、オーガニックコスメブランド「ARGELAN(アルジェラ

ン)」をさらに環境に配慮した商品にリニューアルするなどマツキヨらしい驚きや楽しさのあるPB商品の拡充に努めてまいりました。また、株式会社ナリス化粧品との共同開発エイジングケアブランド「Retinotime(レチノタイム)」を「THE RETINOTIME(ザ・レチノタイム)」として全面リニューアルしました。

新規出店に関しましては、和歌山県内グループ1号店となる「葉マツモトキヨシキーノ和歌山店」をオープンしたことで、国内47都道府県全てに「マツモトキヨシ」グループ店舗の出店がかない、2021年3月末におけるグループ店舗数は1,764店舗となりました。

環境に対する取組みとしましては、2020年4月1日よりポリエチレン製レジ袋の無料配布を終了し、バイオマス成分30%を含んだ素材の有料レジ袋を用意するとともに、再生ポリエステル100%を使用した当社オリジナルショッピングエコバックを発売することでCO₂削減と環境保全に取組んでおります。

マツモトキヨシのブランドにつきましては、世界最大のブランディング専門会社であるインターブランド社によるグローバルに展開される日本発のブランド価値評価ランキング「Best Japan Brands 2021」において81位となり、2021年も日本のドラッグストアとしてナンバーワンブランドの評価をいただきました。

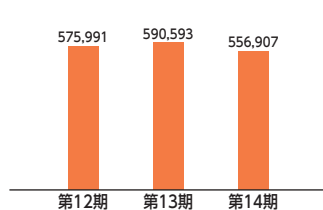
当社の健康経営につきましては、「健康経営®」の取組みが優良であると認められ、昨年に引き続き、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に認定されました。

以上の結果、売上高5,569億7百万円(前期比5.7%減)、営業利益315億33百万円(同16.1%減)、経常利益340億91百万円(同14.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益215億68百万円(同17.6%減)となりました。

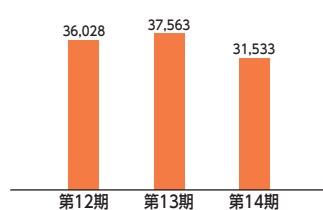
連結財務ハイライト

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第12期の期首から適用しております。

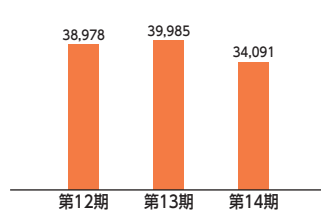
売上高(百万円)



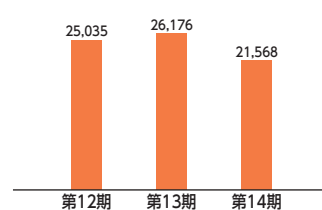
営業利益(百万円)



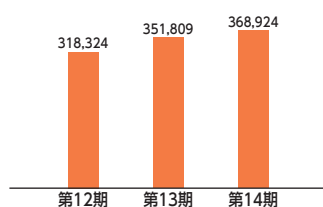
経常利益(百万円)



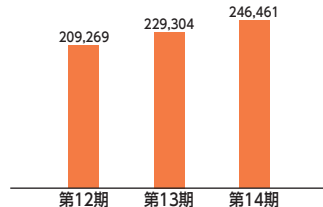
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



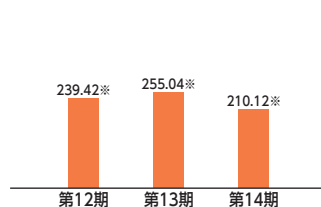
総資産(百万円)



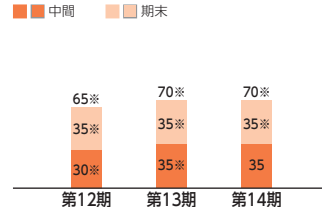
純資産(百万円)



1株当たり当期純利益(円)



1株当たり配当金(円)



経営方針（中期経営計画）

グループ経営理念

あなたにとっての、いちばんへ。

1st for You.

経営ビジョン

美と健康の事業分野において

『アジアNo.1となること』
を目指す。

経営目標

2023年度

グループ売上高 1兆2,000億円

営業利益率 6.5%以上

ROE 10%以上

対処すべき課題

当社グループは、“美と健康の分野においてなくてはならない企業グループ”となり、更に、将来的に“美と健康の分野でアジアNo.1”となることを目指しております。重点戦略を国内とグローバルに分け設定し、国内戦略として「お客様のライフステージに応じた価値提供」を戦略テーマに3つの重点戦略、①利便性の追求-お客様との繋がりの深化、②独自性の追求-体験やサービス提供の新化、③専門性の追求-トータルケアの進化と、グローバル戦略として「アジア市場での更なるプレゼンス向上」を戦略テーマに④グローバル事業の更なる拡大を重点戦略として設定し、取り組んでまいります。

国内における重点戦略及び対処すべき課題

① 利便性の追求-お客様との繋がりの深化

当社グループは、社会全体のデジタル化が進み、お客様のライフスタイルが変化しつつある中で、一人ひとりのお客様と深く繋がっていくことでニーズを的確に捉え、最も身近な存在となることが必要と考えております。そのため、デジタルと店舗網を活用したお客様に届ける仕組みづくり、様々な買い物スタイルの提供など、利便性を追求していくことで、お客様により深く寄り添う企業を目指してまいります。

② 独自性の追求-体験やサービス提供の新化

当社グループは、激しい競争環境の中で、お客様との様々な接点から蓄積されたデータと高いマーケティング分析力を活かし、お客様

の価値観に基づいた商品・サービスや店舗モデルの開発、メーカー様向け広告配信事業の展開など、当社ならではの独自性を追求していくことで、お客様に選ばれる企業を目指してまいります。

③ 専門性の追求-トータルケアの進化

当社グループは、少子高齢化が進み、健康長寿社会の実現を目指す我が国においては、様々なお客様のライフステージに応じた質の高いサービスを提供することで、地域社会により大きな安心と喜びを提供していくことが求められていると考えております。そのため、セルフメディケーションの推進やオンラインを活用した服薬指導・接客などに加え、当社の強みである心と身体の両面でのビューティーケアなど、専門性を追求していくことで、地域包括ケアシステムを支え、すべての人がいつ

までも美しく、健康で心豊かな生活を送れるよう取り組んでまいります。

グローバルにおける重点戦略及び対処すべき課題

④ グローバル事業の更なる拡大

当社グループは、アジアを中心とした新たな進出国の開拓や海外店舗展開、越境EC事業の拡大を図るため、海外SNSの活用やグローバル会員獲得によるアプローチ強化、グローバルで活躍する人材の開発、海外で支持される商品の開発などに積極的に取り組むことで、美と健康への意識が高まっているアジア地域での事業規模拡大とプレゼンス向上を目指してまいります。

店舗ネットワーク（2021年3月31日現在）

北海道・東北エリア 93 店舗展開	甲信越・北陸エリア 171 店舗展開	関東エリア 968 店舗展開	東海エリア 117 店舗展開	関西エリア 151 店舗展開	中国・四国エリア 66 店舗展開	九州・沖縄エリア 198 店舗展開
----------------------	-----------------------	-------------------	-------------------	-------------------	---------------------	----------------------



株式会社 マツモトキヨシ ホールディングス

グループ
店舗総数 1,764 店舗



(本社)千葉県松戸市

全国に1,008 店舗展開

株式会社 マツモトキヨシ 甲信越販売

(本社)長野県長野市

甲信越・北陸エリアを中心に171 店舗展開

株式会社 マツモトキヨシ 東日本販売

(本社)宮城県仙台市青葉区

北海道・東北エリア・関東エリアに172 店舗展開

株式会社 マツモトキヨシ 中四国販売

(本社)岡山県岡山市南区

中国・四国エリア・関西エリアに79 店舗展開

株式会社 マツモトキヨシ 九州販売

(本社)福岡県福岡市博多区

九州・沖縄エリアを中心に169 店舗展開

株式会社 マツモトキヨシ ファーマシーズ

(本社)千葉県松戸市

関東エリア・関西エリアに調剤薬局22 店舗展開



(本社)東京都墨田区

関東エリアに143 店舗展開

「マツモトキヨシ」の海外展開について

- ① セントラル&マツモトキヨシ リミテッドを通じてタイ王国に30店舗展開しております。
 - ② 台湾松本清股份有限公司を通じて台湾に17店舗展開しております。
 - ③ マツモトキヨシベトナム ジョイントストックカンパニーを通じてベトナム社会主義共和国に1店舗展開しております。
- ※タイ王国の30店舗、台湾の17店舗及びベトナム社会主義共和国の1店舗は、上記グループ店舗総数に含んでおりません。

アルジェラン 新スキンケアシリーズ

①商品開発コンセプト

従来の優しい「デイリーオーガニック」から、植物の機能性を追求した「エビデンス&サスティナブルオーガニック」の先進的なオーガニックコスメへと生まれ変わりました。新アルジェランのスキンケアシリーズは「肌への直接アプローチ」「精油100%調香による香りからのアプローチ」、この2つのアプローチからうおいが巡り生き生きと自活力のある肌へ導く、エイジングスキンケアラインです。

②商品開発担当者の想い

2012年のデビュー以来、アルジェランは「良質なオーガニックコスメを誰もが気軽に体験できる環境が作りたい」という想いの元、“オーガニックコスメを日常に”を掲げ、多くの方の毎日に溶け込む人気ブランドへと成長することができました。オーガニックコスメが多くの方の日常に取り入れられるようになった今だからこそ、これまでに積み上げた知見を生かして、“植物のやさしさ”だけでなく、“植物が持つ確かな力”を追求し、オーガニックコスメの一步先を行くブランドへと生まれ変わりました。

③商品のいちおしポイント

機能面のパワーアップのほか、SDGsの観点から、人や環境に配慮した健全なもののづくりを行いました。

まず原料面では、果物由来のエキスをオイルなど、ジュース製造後に捨てられてしまう素材から抽出するなど、副産物を利用しています。さらにトレーサビリティが明確であったり、地球環境やその土地の地域雇用へと繋がる原料を積極的に採用しました。

また容器・資材面では、バイオマス容器を積極的に採用しました。他にも1個箱は廃止しシュリンクへ変更、FSC認証紙を使用、バーজনシールを廃止し封緘ロックへと変更、環境配慮型インキの採用など、最大限環境に配慮した形での製品化を実現しました。

④価格 1,100円～2,178円 ※税込

⑤発売日 2020年9月11日



アルジェラン 新ヘアケアシリーズ

①商品開発コンセプト

“オーガニックコスメを日常に”をコンセプトに掲げ2012年にデビューしたアルジェラン。2020年秋にブランドリニューアルを迎え、旧来のデイリーオーガニックから、「エビデンス&サスティナブル オーガニックコスメ」へと生まれ変わりました。植物の力を独自の測定に基づいて分析し、選びとって確かなデータ(エビデンス)をとるというアプローチと、オーガニックコスメを通して日本や世界で起こっている環境・社会問題に取り組んでいく新しいオーガニックコスメのあり方を模索し実行へと移しています。

②商品開発担当者の想い

独自の基準で確かなデータを得られた植物原料を配合していること、バイオマス容器や、国産原料の積極採用など、環境や地方創生に取り組んでいることに加え、使い心地、髪や肌への効果、香りの持続性が向上しました。ぜひ、より多くの方に手に取っていただきたいと願う商品です。

③商品のいちおしポイント

- ・髪の空洞化を防ぎ、表面まで保護する独自の植物由来美髪成分「フィットフィルコンプレックス」を配合
- ・スキンケアにも配合されている、“巡り”というキーワードで植物を測定し厳選した「フィットフォースコンプレックス」を配合
- ・多くの方にご満足いただけるよう、精油と合成香料の配合比にこだわった心地よく機能する香りが続く「デュアルフレグランス」

※フィットフィルコンプレックス、フィットフォースコンプレックスはすべての商品に配合されているわけではありません。

④価格 143円～1,760円 ※税込

⑤発売日 2021年3月11日



TOPICS

重要課題(マテリアリティ)に紐づくKPI設定に関するお知らせ

当社は、当社グループが優先して取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を4つ特定し公表しました。

今般、当社は、特定した4つのマテリアリティについて、グループ横断のタスクチームにて協議・検討をすすめ、社外取締役の意見も踏まえて、取締役会承認を経て、右記のとおり経営目標達成指標(KGI)及び重要業績評価指標(KPI)を設定しましたのでお知らせします。

<当社グループの成長の基盤となるマテリアリティ>

■ 従業員の成長



■ ガバナンス・コンプライアンスの充実



詳細は、当社ホームページ<https://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/news.pdf>をご確認ください。

<社会的課題解決と当社成長が両立するマテリアリティ>

■ お客様・地域医療の美と健康を考える



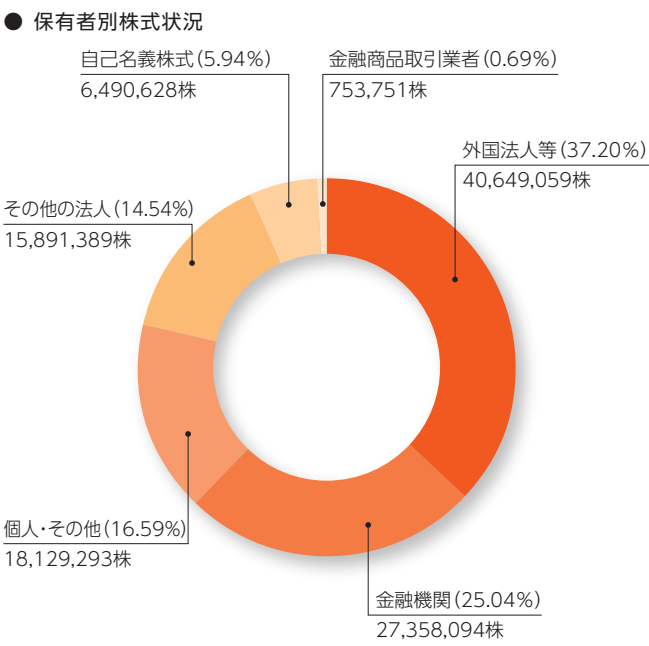
■ 地球の健康を考える



会社概要・株式の状況 (2021年3月31日現在)

会社概要	
● 名称	株式会社マツモトキヨシホールディングス
● 所在地	〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1
● 電話番号	047-344-5110(代表)
● 設立	2007年10月1日
● 資本金	220億51百万円
● 事業内容	子会社の管理・統轄及び商品の仕入・販売

株式の状況		
● 発行可能株式総数	420,000,000株	
● 発行済株式総数	109,272,214株	
● 株主数	20,413名	
● 大株主(上位10名)		
株主名	保有株式数 (単位:株)	持株比率 (単位:%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,214,200	6.60
株式会社マツモトキヨシホールディングス	6,490,628	5.93
株式会社千葉銀行	5,115,600	4.68
株式会社南海公産	4,287,176	3.92
JP MORGAN CHASE BANK 380072	3,613,800	3.30
松本 南海雄	2,947,000	2.69
エーザイ株式会社	2,815,000	2.57
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,656,900	2.43
松本 貴志	2,519,680	2.30
松本 清雄	2,518,920	2.30



役員 (2021年6月29日現在)			
代表取締役会長	松本 南海雄	社外取締役	大村 宏夫
代表取締役社長	松本 清雄	社外取締役	木村 恵司
専務取締役	松本 貴志	社外取締役	沖山 奉子
常務取締役	大田 貴雄	常勤監査役	本多 寿男
取締役	小部 真吾	社外監査役	小池 徳子
取締役	石橋 昭男	社外監査役	渡辺 昇一
社外取締役	松下 功夫		

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
1単元の株式数	100株
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部(証券コード3088)
公告の方法	電子公告 公告掲載URL https://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待について

当社は、株主の皆様へ、日頃よりご愛顧
いただいております感謝の気持ちを込め
まして、株主優待として、年2回、当社
グループの店舗でご利用可能な商品券を
お送りしております。
是非とも当社グループの店舗をご利用く
ださいようお願いいたします。

株主優待の内容

優待内容: 当社グループ店舗で利用可能な商品券

対 象: 毎年3月末及び9月末現在の当社株主名簿に記載又は
記録された1単元(100株)以上所有の株主様

贈呈基準: 100株以上500株未満 2,000円分
500株以上1,000株未満 3,000円分
1,000株以上 5,000円分

贈呈時期: 毎年以下の時期の発送を予定しております。
・基準日が9月30日の場合は12月上旬
・基準日が3月31日の場合は6月下旬

(注) 調剤薬局にて医療機関より処方される処方薬には利用できませんのでご了承ください。